

チャペル週報

No.19

2024.10.21～10.25

できれば、せめてあなたがたは、
すべての人と平和に過ごしなさい。

ローマの信徒への手紙 12章18節



吉岡記念館（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時 間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場 所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

10月21日(月)	神 人 建 短大	「共に生きる」④ 井上 智(神学部助教) 柴田 学(人間福祉学部准教授) 献血実行委員会 手良村クラス ダッドレーチャペル
10月22日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	小林 希恵(日本キリスト教団 三木教会牧師) Andreas Rusterholz(宗教主事) コミュニケーション―「伝える」ということ⑥ 小見 のぞみ(短期大学宗教主事) 大宮 有博(宗教主事) 人間を考える④ 趙 怡(経済学部教授) 伊藤 正範(商学部教授) 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア 献血実行委員会 国際プログラム参加学生 宗教総部
10月23日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	「共に生きる」⑤ Esben Petersen(宣教師、神学部助教) コミュニケーション―「伝える」ということ⑦ Hans Peter Liederbach(社会学部教授) 早野 潤子(パストラルハーブ奏者) 木原 桂二(宗教主事) 相川 聖(人間福祉学部助教) 音楽チャペル 関西学院聖歌隊 前川 裕(宗教主事) 柴田 若奈(教育学部4年)
10月24日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	「共に生きる」⑥ 柳澤 田実(神学部准教授) Andreas Rusterholz(宗教主事) コミュニケーション―「伝える」ということ⑧ 西村 正男(社会学部教授) 大宮 有博(宗教主事) 人間を考える⑤ 長谷川 哲子(経済学部教授) 福島 旭(中学部宗教主事) 李 善恵(宣教師、人間福祉学部教授) Chapel in English Janette McIntosh(宣教師、国際学部教授) 国際プログラム参加学生 幼稚園・保育所実習を振り返って(保2学生)
10月25日(金)	ランバス 神 文 経 理・工・生環	Mastery for Service を考える② 井上 智(宗教センター宗教主事) 「共に生きる」⑦ 岩野 祐介(神学部長) Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 宗教改革記念日(10/31)を前に 舟木 譲(宗教主事) 献血実行委員会

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

10月25日(金) 宗教改革記念日(10/31)を迎えるにあたって 橋本 祐樹(神学部准教授)

Zoom での参加希望の教職員・学生等の方は、QRコードを読み込みお申込みください。



高齢者のイメージ

大和 三重

私が担当する「高齢者福祉論」の授業では、最初に高齢者のイメージについて聞いています。専門的な内容を学ぶ前に自らがもっている高齢者のイメージについて知っておく必要があると考えているからです。近年、日本では人口の高齢化が進む一方で、残念ながら高齢者福祉という学問領域に関心をもつ学生は多くはいません。それには、高齢になるということ自体に対する否定的な見方や高齢者へのマイナスイメージが影響しているのではないかと思います。授業のアンケートでもやはり否定的なイメージを持つ学生の方が多いのは毎年変わらない状況です。

さて、人間は誰でも歳をとります。それはどんなに抗おうとも止めることはできないし、その延長線上に死が待っていることも否定できない事実です。だから歳を取って心身が衰えていくことは不安であり、できれば避けて考えたくないことなのだと思います。しかし、老年期とは本当に不安で辛いことばかりなのでしょうか？私はNOと言いたいです。かく言う私自身、今年度で定年退職を迎えます。社会的な位置づけでは、もう立派な高齢者と呼ばれる年齢です。ただ、専門的には、高齢期になるほど個人差が大きく、年齢だけで一括りにして語ることはできません。長い年月を経るなかでそれぞれの特性や経験の違いが顕著に表れてくるからです。

私は中学校から10年間ミッションスクールに通いました。お蔭で学校では聖書という科目があり、日常的に聖書や讃美歌に親しむ機会を得ました。若い頃には聖書は授業で学んだり、毎朝の礼拝の時間に読んだりするだけでした。しかし、今では時々聖書を手に取って開いてみるがあります。そうすると、学生の頃に学んだ印象深い箇所いくつかに線が引いてあることに気づきました。その一つがコリント人への第二の手紙の第4章16節と18節の聖句です。「だから、わたしたちは落胆しない。たとえわたしたちの外なる人は滅びても、内なる人は日ごとに新しくされていく。」「わたしたちは、見えるものにではなく、見えないものに目を注ぐ。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠につづくのである。」

高齢になった今、この聖句が意味するところをようやく理解できるようになったと感じています。これからの人生へのエールとして受け止めたいと思います。

(人間福祉学部教授)

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内



関西学院の基盤となるキリスト教の言葉やシンボル、関西学院の精神について語るメッセージビデオです。キリスト教主義教育のエッセンスに触れるとともに、皆さまの心の糧としてご視聴ください。(月2回程度更新されます)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回チャペルアワーを実施しています。場所は1405教室です。どなたでもご自由にご参加ください。
11月14日(木)17:50~18:10 嶺重 淑(大学宗教主事)

●秋の献血週間のお知らせ

宗教総部では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆さまのご協力をお願いします。

日 時：KSC・・・10月23日(水)、25日(金)10:30~11:20/12:40~17:00

場 所：KSC・・・体育館横

主 催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の10:00~11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

10月27日(日)10:00~11:00

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。

日 時：2024年12月19日(木)17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

場 所：ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

内 容：第1部・・・音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ

第2部・・・学院の音楽団体によるクリスマスコンサート

参 加 費：2,500円 全席指定席

参加費は運営費を除いた全額を宗教活動委員会を通して関係団体・施設等に献金いたします。

主 催：関西学院

共 催：関西学院後援会・関西学院同窓会

お問合せ：関西学院宗教センター tel.0798-54-6018

チケット販売：9月20日(金)販売開始

*関西学院大学生協(tel.0798-53-5150 各キャンパスで販売)

*チケットぴあ Pコード 278-686 <https://w.pia.jp/t/kwansei-christmas/>

*ぴあ取り扱いのコンビニエンスストア：セブン・イレブン

*ザ・シンフォニー チケットセンター(tel.06-6453-2333・火曜定休、ザ・シンフォニーホール内)

<https://www.symphonihall.jp/>



チケットぴあ



ザ・シンフォニーホール